

## PMJ フォスターファミリー奨学助成 2024 募集要項

### 1. 助成目的

さまざまな理由により、里親家庭(親族里親・ファミリーホームを含む)で養育されている児童の高校卒業後に進学する費用を助成することにより、児童の社会的自立と夢の実現を支援します。

### 2. 助成対象者

受験時に関東甲信越静エリアの里親の保護下にあり、2023年もしくは2024年春に高校を卒業し、大学、短期大学、専門学校 of いずれかに進学を希望する者。進学先は国内の大学、短期大学、専門学校に限ります。

### 3. 助成人数

5名を上限とします。

### 4. 助成内容

進学した学校の授業料等援助を目的として、年間50万円を給付します(返済不要)。他の奨学金との併給も可能です。

### 5. 助成期間

助成期間は1年次から進学した学校の最短卒業年次まで。申請は単年度ごと。継続する奨学生の翌年の認定に当たっては、継続申請のための提出書類をもとに、主催会社と事務局が話し合って定めます。

原則として、退学の際は助成を終了します。学習意欲が見られない等により継続が難しい場合に認定しないことがあります。病気や事故等やむを得ない場合は事情を考慮します。いずれの場合も、奨学生本人の意思や事情を確認しながら検討を行います。

### 6. 申請書類

手書き作成の場合は、黒ボールペンでご記入ください。選考過程でコピーをとるため、薄い筆記の場合は写りません。また消せるボールペンもご使用いただけません。スペースが足りない場合は、お手持ちの紙等もご使用ください。なお、書類をまとめるためのホチキス止めは不要です。

① 本人申請書(本人作成、自筆)

② 就学中の資金計画書(本人作成、自筆)

※ウェブサイト(<https://fosterfamily.jp/>)からダウンロードした Excel には自動計算の関数を設定しています。印刷せず PC 等から入力する場合、自動計算をご活用ください。

③ 里親申請書(里親作成)

④ 作文(本人作成、手書き必須)

・用紙指定：PMJ フォスターファミリー奨学助成規定の原稿用紙

※ウェブサイト(<https://fosterfamily.jp/>)からダウンロードの上、手書きで作成してください。

※ダウンロードができない場合は市販の原稿用紙をご使用ください。その際は、400字詰め 原稿用紙(A4 サイズ・縦書き)をご使用ください。

・字数：原稿用紙 6 枚以上(2,001 字以上)

・テーマ (題名)：「里親と自分のこと、そして自分が歩みたい道」

一里親と自分のこと：自分のこれまでの人生とそれに対して思うこと、里親とのやりとりで一番印象に残っている出来事 等(里親との出来事について特筆すべきことが思いつかない場合、何気ない日常生活についてでも構いません)

一自分が歩みたい道：将来の夢や展望、その夢や展望を持ったきっかけとその理由 等

※本人ご自身の言葉でお書きください。

※内容は無理なく書ける範囲で結構ですが、枚数は 6 枚以上となります。

⑤ 調査書(開封不可)

在学中の高校に申請し、取得してください。学校側の事情によりどうしても取得が遅れる場合は次ページ「12.」の事務局までご連絡ください。

⑥ 進学志望校の要項の一部

以下の 4 項目それぞれについて、明記されているページをコピーし、黒ボールペンや付箋で印をつけてください。コピーは A4 サイズでご対応ください。

一学校学部学科名

一修学内容

一住所

一授業料等(学費が明記されている部分)

⑦ チェックリスト

上記①～⑥の書類について、申請書類に不備がないことを確認してください。

必要事項が記入されていないもしくは条件を満たしていない場合は、申請書類として受付できない場合がございます。

※封をする前に、記入漏れや間違い等がないかご確認ください。

※個人情報保護に関する法令の趣旨等を踏まえ、個人情報の管理には徹底を図り、十分注意いたします。

※提出書類は返却いたしません。

## 7. 募集期間

2023年10月1日(日)～10月31日(火)当日消印有効

書留、配達証明、レターパック、特定記録で郵送ください。

## 8. 選考方法

PMJ フォスターファミリー奨学助成選考委員会で応募書類の審査・選考を行い決定します。また、最終的な判断のため面談(オンラインにて30分程度)を行う可能性があります。

面談を行う場合、日程調整について11月中旬に個別に連絡いたします。面談実施時期は11月27日(月)～12月1日(金)を予定しています。

なお選考結果につきましては、審査の公正の観点から個別に対応することはありません。

## 9. 選考結果の通知

2023年12月10日(日)までに、申請者全員に郵送にて通知します。

## 10. 最終決定

入学証明書の受理をもって正式な助成決定とします。

## 11. 助成決定以降

・年間を通して、奨学生同士の交流を目的としたイベントや、卒業後の進路検討に向けた情報提供の場を複数回開催します。

・奨学生はこれら各種イベントへ基本的にご参加いただきます。以下、代表的なイベントとなります。

例1：「新奨学生と選考委員の交流会」

—内容：新奨学生の近況把握を目的としたランチ、歓談等を想定

—開催時期：助成1年目の夏頃を想定

例2：「出発(たびだち)を祝う会」

—内容：卒業を迎えた奨学生、選考に合格した新奨学生へのお祝いを目的に、贈呈書授与式、歓談等を想定

—開催時期：3月末を想定

—各種イベントの開催に際しては、事前の企画や当日の設営等準備段階からご参加ください。ご参加内容や頻度は、居住地域や状況に応じて調整いたします。

—各種イベントの日程調整や参加確認、その他各種お問い合わせ等にご協力ください。

・奨学生は、以下の事務手続きを必ず行ってください

—近況報告書を定期的にご提出ください。(年2回を想定)

—進級時には継続申請書類をご提出ください。

—卒業時には卒業報告書類をご提出ください。

—助成を終了する際は、手続きのための書類をご提出ください。

—進路変更等に悩まれた場合は、変更する・しない等を決定する前に、まずはご事情をお聞かせください。

・助成終了後や卒業後にイベント登壇やアンケート回答等を依頼することがありますが、可能な範囲でお問い合わせ等にご協力ください。

## 12. 申請書の提出先およびお問い合わせ先

PMJ フォスターファミリー奨学助成事務局

一般社団法人 RCF

〒162-0844 東京都新宿区市谷八幡町 2-1 DS 市ヶ谷ビル 3 階

電話：03-6265-0164

メール：[fosterfamily@rcf.co.jp](mailto:fosterfamily@rcf.co.jp)

担当：若田(050-5897-1475)

※現在、在宅勤務を行っています。ご用件は、メールもしくは担当者へご連絡ください。

## 13. 主催会社

※申請書の提出とお問い合わせは、上記「12.」の事務局へお願いいたします。

フィリップ モリス ジャパン合同会社

エクスターナル アフェアーズ

# PMJ フォスターファミリー奨学助成 2024 本人申請書

記入日: 2023 年 月 日

ふりがな	印	写真 (3.5cm × 4.5cm)		
氏名(戸籍名)				
生年月日 西暦 年 月 日 ( 歳)				
里親氏名(夫婦等で里親の場合は2名とも)				
ふりがな				
現住所(〒 — )				
この奨学助成からの郵便物への記載を希望し、この奨学助成関係のイベントで名乗りたい氏名 (姓について: 戸籍上の姓 ・ 里親と同じ姓)				
卒業予定高校 立 高校 科(昼・夜・通信制)				
志望 順位	進学希望校名、学部名、学科名	合否発表日、 受験方式	初年度納入金	希望する 取得可能資格
第一 志望	(大学・短大・専門学校)( 年制)(昼・夜)	月 日 (推薦・一般・ AO・その他)	万円 (うち年間授業料 万円)	
第二 志望	(大学・短大・専門学校)( 年制)(昼・夜)	月 日 (推薦・一般・ AO・その他)	万円 (うち年間授業料 万円)	
第三 志望	(大学・短大・専門学校)( 年制)(昼・夜)	月 日 (推薦・一般・ AO・その他)	万円 (うち年間授業料 万円)	
第四 志望	(大学・短大・専門学校)( 年制)(昼・夜)	月 日 (推薦・一般・ AO・その他)	万円 (うち年間授業料 万円)	
第一志望校選択理由	※可能な限り具体的に記載してください。(立地、取得可能な資格、学習分野、学費、など)			
進学後の住居予定	里親宅 ・ 学校の寮 ・ アパート自活 ・ その他( )			

高校時代に取り組んだ活動について

1. 高校時代に一定期間取り組んだ活動(部活動、アルバイトなどの課外活動も含む)を記載してください。また、活動種別/取り組み期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動出来なかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。

ここから先は、以下のどちらかを書いてください。

A:1 に書いた活動のうちどれか1つのこと B:高校での勉強のこと

選択内容:

2. 選択したことについて、設定していた、または達成したいと思っていた目標と、その理由を記載ください。

3. 選択したことについて、

①自分自身、2にて記載した目標を達成したか否か、その結果の理由

②特に大変だった事と、それをどのように乗り越えたかについて、具体的なストーリーも含めて記載ください。

4. 選択したことについて、周囲の人を巻き込んだり、周囲の人に相談したりしたことがあれば、その具体的な内容と、巻き込んだ・相談した理由について記載ください。

【記載例①】

<p>高校時代に取り組んだ活動について</p>	
<p>1. 高校時代に一定期間取り組んだ活動(部活動、アルバイトなどの課外活動も含む)を記載してください。 また、活動種別/取り組み期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動出来なかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。</p>	
<p>活動種別:アルバイト(コンビニ) 取組期間と頻度:高校1年6月～高校2年3月、週1～2回 役割や役職:レジ、品出し等</p>	
<p>ここから先は、以下のどちらかを書いてください。 A:1に書いた活動のうちどれか1つのこと B:高校での勉強のこと</p>	<p>選択内容:A</p>
<p>2. 選択したことについて、設定していた、または達成したいと思っていた目標と、その理由を記載ください。</p>	
<p>進学に必要なお金を用意するため、高校3年生の夏休みまでに、80万円貯金をすることを目標とした。 80万円は志望校の受験料と入学金を合わせた金額。目標時期を高3の夏に設定したのは、それ以降は受験勉強に集中するためである。 目標を達成するためには毎月3万円稼ぐペースとなるが、学校に通いながらも稼げる金額であると考えた。</p>	
<p>3. 選択したことについて、</p>	
<p>①自分自身、2にて記載した目標を達成したか否か、その結果の理由 ②特に大変だった事と、それをどのように乗り越えたかについて、具体的なストーリーも含めて記載ください。</p>	
<p>①80万円は達成した。(実際に高3の6月に達成)理由としては、設定した期間において、毎月の目標金額をクリアすることができたからである。毎週何曜日のこの時間はアルバイトに入る、と週のスケジュールを無理なく組んだことで、生活のリズムを崩すことなく、継続して働けたことが大きな要因であると考えた。 ②学校の勉強とアルバイトを両立することが大変であった。1年生の頃はテスト期間中でも構わずに、通常通り働いた影響で、テスト勉強が疎かになり、成績が伸び悩んだ。2年生になると、1年生での失敗を避けるため、事前に担任の先生から年間のテストスケジュールを教えてもらい、テスト期間中はシフトに入らない様に工夫した。また、テスト期間で働けなくなった時間を計算しておき、夏休みなどの長期休みで取り返すように調整した。</p>	
<p>4. 選択したことについて、周囲の人を巻き込んだり、周囲の人に相談したりしたことがあれば、その具体的な内容と、巻き込んだ・相談した理由について記載ください。</p>	
<p>貯金する金額を決めるときに、進学には何に、いくら必要になるのか全く想像がつかなかった。そこで、里親にお願いして、大学に実際に通っている里親の親戚に繋げてもらい、電話で進学に必要なお金のことを聞き取りした。その話をもとに自分で80万円という金額を設定したが、本当にそれが正しく計算されているのか不安だったので、学校の進路指導部の先生にもチェックしてもらった。</p>	

【記載例②】

<p>高校時代に取り組んだ活動について</p>	
<p>1. 高校時代に一定期間取り組んだ活動(部活動、アルバイトなどの課外活動も含む)を記載してください。          また、活動種別/取り組み期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動出来なかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。</p>	
<p>活動種別:部活(ダンス)          取組期間と頻度:高校1年4月～高校3年7月、月2回+自主練週1回程度          役割や役職:部長</p>	
<p>ここから先は、以下のどちらかを書いてください。          A:1に書いた活動のうちどれか1つのこと B:高校での勉強のこと</p>	<p>選択内容:A</p>
<p>2. 選択したことについて、設定していた、または達成したいと思っていた目標と、その理由を記載ください。          高3の夏に行われる市の大会で優勝することを目標とした。          小学生の頃からダンスを続けてきたにも関わらず、結果を残せていなかったため、高校の部活では、自分自身納得する成果を残すため、この目標を設定した。</p>	
<p>3. 選択したことについて、          ①自分自身、2にて記載した目標を達成したか否か、その結果の理由          ②特に大変だった事と、それをどのように乗り越えたかについて、具体的なストーリーも含めて記載ください。</p>	
<p>①市の大会での優勝は達成することはできなかった。自分たちのダンスを上達するために、練習方法の改良に取り組んだが、競争相手となる学校のダンスと比較し、勝る要素を磨くことができなかったためと考える。          ただし、全員で共通認識をもって、技を磨くために、練習内容を録画・録音し、グループラインで共有し、学校だけでなく、各自自主練を行ったり、工夫することで、チームでの取組みができたことはよかった。          ②練習内容を録画・録音し、共有することを一人で担っていたが、一人でやることに限界を感じ、一時期、共有ができなかった。その際に、他の部員に事情を正直に話し、当番制で回すことに決めた。他のメンバーに担当を引継ぐにあたり、共有方法や最低限抑えて欲しいポイントについても説明し、皆で協力し、練習を進めることができた。</p>	
<p>4. 選択したことについて、周囲の人を巻き込んだり、周囲の人に相談したりしたことがあれば、その具体的な内容と、巻き込んだ・相談した理由について記載ください。</p>	
<p>部活の練習場の鏡を修理するのに、多くの人を巻き込んだ。練習場にはダンスの様子が見えるように大きな鏡を設置しているが、一部に大きなひびが入っている状態で5年間放置されていた。そこで、私は顧問の先生に学校の予算を使えないかと掛け合い、一部補填してもらえることになった。残りのお金は、部員の保護者やOB/OGに寄付の依頼をして、修理費用を賄うことができた。寄付をお願いする際のお手紙などは、顧問の先生や里親にも書き方を相談しながら作成した。</p>	



【記載例③】

高校時代に取り組んだ活動について	
1. 高校時代に一定期間取り組んだ活動(部活動、アルバイトなどの課外活動も含む)を記載してください。 また、活動種別/取り組み期間と頻度/役割や役職なども記載してください。なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、思うように活動出来なかった場合、学校生活の中で取り組んだ内容でも構いません。	
新型コロナウイルスの影響で、部活動や課外活動を行えなかった。	
ここから先は、以下のどちらかを書いてください。 A:1に書いた活動のうちどれか1つのこと B:高校での勉強のこと	選択内容:B
2. 選択したことについて、設定していた、または達成したいと思っていた目標と、その理由を記載ください。	
志望校に推薦で入学することを目指して、学校の内申平均が3.5以上になるように努力した。 一般入試という選択肢もあるが、受験のような幅広い範囲から出題されるテストが得意ではないため、推薦入試を選択した。また、3.5という目標の数値は、第一志望校の推薦入試での合格者平均値である。	
3. 選択した取組みの中で、①成功したこととその理由、②特に大変だったこととそれをどのように乗り越えたかについて、具体的なストーリーも含めて記載ください。	
①適度に自分にご褒美を与えることで、継続的に良い成績を取ることに成功した。推薦入試を狙うには、常に良い成績を取らなくてはならない。しかし、正直いくら大学進学への熱量があっても、それだけでは3年間継続して勉強に集中するモチベーションとしては難しかった。そこで、「もし今学期の成績が3.5を超えていたら、好きな漫画を5巻買う」という、勉強以外でのモチベーションを設定した。そのお陰で、一度も心を折れることなく勉強に集中出来ている。	
②私は理系の科目が苦手で、中学校の頃からいつも成績が悪かった。しかし、内申平均3.5を目指す以上、苦手な科目でも1や2という評価を避け、3は取っておく必要があった。いきなり苦手な科目のテストの点数を改善することは難しいと考えたので、授業中に積極的に発言をしたり、提出物を完璧に仕上げたりと、テスト以外の部分で評価を得ることに集中した。その結果、なんとか苦手な科目でも平均して3を取ることが出来た。	
4. 選択した取組みにて、自分一人で頑張ったことではなく、周囲の人を巻き込んだ経験や他人に相談した経験と、巻き込んだ・相談した理由について、記載ください。	
苦手な理系科目の課題で良い評価をもらうために、その科目が得意な友達と一緒に宿題をして、教えてもらったりしていた。また、自分のクラスよりも先に授業を受けた他のクラスの友達に、授業中に先生がしてくる質問を事前に聞いておき、その箇所を徹底的に予習し、発言出来るように準備をしていた。	

PMJ フォスターファミリー奨学助成 2024 就学中の資金計画

氏名	
----	--

生活設計上、大変重要です。里親、児童相談所の担当者、高校の先生など身近な大人の人とよく話し合ってください。

※項目を追加したい場合、ご自身で項目を追加していただいても構いません。

1年目の年間支出 (自分に関係する項目に記入してください)

	1ヶ月	年間
入学金 (初年度のみ)		円
授業料		円
施設設備費・諸経費 等		円
教材・文房具・図書費 等		円
<b>① 1年目の学費合計</b>		円
住居費	円 × 12ヶ月	円
住居契約費 (敷金・礼金 等)		円
引越費 (家具・電化製品 等)		円
水道光熱費 (電気・ガス・水道)	円 × 12ヶ月	円
食費	円 × 12ヶ月	円
通学費	円 × ヶ月	円
日用費 (衣類・理美容・身の回り等)	円 × 12ヶ月	円
携帯電話・通信代	円 × 12ヶ月	円
交際費・娯楽費	円 × 12ヶ月	円
国民健康保険		円
		円
		円
<b>② 1年目の生活費等の合計</b>		円
<b>① + ② 年間支出予定</b>		円

2年目以降の年間支出 (自分に関係する項目に記入してください)

	1ヶ月	年間
授業料		円
施設設備費・諸経費 等		円
教材・文房具・図書費 等		円
<b>③ 2年目以降の学費合計</b>		円
住居費	円 × 12ヶ月	円
水道光熱費 (電気・ガス・水道)	円 × 12ヶ月	円
食費	円 × 12ヶ月	円
通学費	円 × ヶ月	円
日用費 (衣類・理美容・身の回り等)	円 × 12ヶ月	円
携帯電話・通信代	円 × 12ヶ月	円
交際費・娯楽費	円 × 12ヶ月	円
国民健康保険		円
		円
		円
<b>④ 2年目の生活費等の合計</b>		円
<b>③ + ④ 年間支出予定</b>		円

1年目の年間収入 (自分に関係する項目に記入してください)

※奨学金はこれから申請するものや現在選考中のものも含めて、現時点での計画をご記入ください。

	1ヶ月	年間
国からの支度金 (初年度のみ)		円
自治体からの支度金 (初年度のみ)		円
奨学金: PMJフォスターファミリー奨学助成		円
奨学金:		円
奨学金:		円
奨学金:		円
奨学金:		円
アルバイト代	円 × ヶ月	円
の援助・仕送り		円
今までの貯金分		円
<b>年間収入予定</b>		円

2年目以降の年間収入 (自分に関係する項目に記入してください)

	1ヶ月	年間
奨学金: PMJフォスターファミリー奨学助成		円
奨学金:		円
奨学金:		円
奨学金:		円
奨学金:		円
奨学金:		円
アルバイト代	円 × ヶ月	円
の援助・仕送り		円
1年目からの繰り越し		円
<b>年間収入予定</b>		円

備考

--





# PMJフォスターファミリー奨学助成 2024 チェックリスト

記入日: 2023年 月 日

氏名:

## <留意点>

- ・申請書類を提出する前に、本リストを使って申請書類に不備がないことを確認してください。不備がある場合は、申請を受け付けられないこともあります。
- ・下記チェックポイントに基づいて申請書類を確認し、チェック欄にレ点をつけてください。記入済みの本リストも申請書類として同封してください。
- ・ご不明点がある場合は、申請前に事務局へご連絡ください。

書類名	チェックポイント	チェック
①本人申請書	・全ての記入欄に必要事項が記入され、印鑑が押されているか。	
②就学中の資金計画書	・氏名が書かれているか。	
	・1年目、2年目以降ともに、「年間支出予定」「年間収入予定」の計算が正しいか。	
③里親申請書	・全ての記入欄に必要事項が記入され、印鑑が押されているか。	
④作文	・題名と氏名が原稿用紙内に記載されているか。	
	・用紙や枚数は規定されたとおりにになっているか。 一用紙タイプ: 本奨学制度規定のもの、或いは市販の400字詰め原稿用紙(縦書き・A4サイズ) 一枚数: 6枚以上(2,001字以上)	
⑤調査書	・封が閉じられているか。	
⑥進学志望校の要項の一部	・下記情報が掲載されており、該当部分に黒ボールペンや付箋で印がつけられているか。 また、書類①にて記載した全ての学校の要項が揃っているか。 一学校学部学科名 一修学内容 一住所 一授業料等(学費が明記されている部分)	
⑦全体	・記載の修正がある場合、修正テープ等の利用や、二重線と訂正印での修正がなされているか。 (消せるボールペンの利用は不可)	
	・申請書類7点(記入済みの本リスト含む)が全てそろっているか。	